

全校集会 学校長の話（2026 年 10 月 27 日）

- 先週、生徒会役員や各委員会の認証式がありました。本当は、そのときに新しく役割を担うみなさんにお話ししたかったのですが、あれからもう一週間がたちました。きっと、それぞれの場所で活動を始めてくれていると思います。任された仕事を、みんなのために精いっぱい頑張ってください。そして、周りのみなさんも、役員や委員の人たちを支え、一緒に取り組んでほしいと思います。
- さて、今週の金曜日は、いよいよ体育大会です。皆さん、楽しみにしていることと思いますが、なかには少し不安を感じている人もいるでしょう。走ることが得意な人もいれば、あまり得意ではない人もいます。
- 大切なことは、一人一人が、「自分の力を精いっぱい出せる場所にする」ということです。
- 例えば、リレーで仲間がバトンを落としてしまったとき、みなさんなら、どんな声をかけますか。「何してるねん」と責められたら、つらいですね。一生懸命走っていても、失敗することはあります。
そんなときこそ、「大丈夫！」「いけるで！」と声をかけてほしい。自分が失敗したときにも、そうやって応援してもらえたら、うれしいですね。
- 自分がその立場なら、どう感じるか。どんな言葉をかけてほしいか。相手のことを考えて、仲間を応援してください。いつも話している「エンパシー」をはたらかせてください。「このクラスでよかった」「ここにいていいんや」。失敗しても責められず、安心して挑戦できる。以前にも話した「心理的安全性」のある仲間づくりを、みんなで進めてほしいと思います。
- これは、普段の生活でも同じです。例えば、下校中に友達と歩道いっぱいに広がって歩く。自分たちは楽しくても、前から来る人や後ろを歩く人は、通れずに困っているかもしれません。
これまで何度も、「隣の人を大切にしてください」と話してきました。その「隣の人」には、教室の友達はもちろん、地域で暮らす人も、道ですれ違う人も、顔や名前を知らない人も含まれています。
- このあと、生徒指導主事の先生から、地域での落書きについて、具体的なお話があります。自分ならどうするか、友達と一緒にいるときにどう行動するか、考えながら聞いてほしいと思います。
- 私たちは、縁あって、この北稜中学校で、この地域で一緒に生活しています。お互いを大切にしながら、みんなが安心して、心理的安全性を持ちながら過ごせる学校と地域を、一緒につくっていきましょう。
- 金曜日の体育大会でも、仲間が頑張っていたら応援する。失敗したら励ます。そんな姿を、たくさん見せてもらえたらうれしいです。「この仲間と一緒によかった」と思える体育大会にしましょう。楽しみにしています。